

# 青雲

～L・T29のあゆみ～

裏千家淡交会青年部 第29期  
リーダーシップ・トレーナー出向員研修  
第2回活動記録

平成28年3月18日 雨  
京都シテイホテル

18時～20時 呈茶委員会準備  
16時～18時 呈茶全体準備  
11時～12時 受付・登録 呈茶

テーマ「Welcome」一心  
置床 内藤さん作 畳縁 宝船  
色紙 橋本紹尚和尚筆

花入 「花知」様春  
お砂焼き 川原陶齋  
白玉椿

香合 榎 五代大樋  
紙釜敷 奥村吉兵衛

茶 丸久小山園 総本部ご厚意  
黒部扇状地湧水  
ふのやき 未富製  
八重桜 寶月堂製

菓子 懐紙の間に蝶のイラストと  
厚紙を敷く

18時半～20時 オリエンテーション  
総本部 長谷川様より挨拶  
中田様より班分けスケジュール等  
ご説明

班ごとに別れ、自己紹介等  
\*オリエンテーション時、ノート、  
シャープペンシル、出版目録を頂く  
20時～ 呈茶片づけ  
各自夕食

ダイニング甲京のお弁当舞  
21時～22時 L・Tミーティング  
各委員会より報告  
ナショナルコンの研修プログラム決め  
29期の目標、テーマの進め方等についで話し合う

3月19日 曇り  
茶道会館・裏千家学園

8時15分  
整列後、礼の仕方のご説明  
利休道歌 後藤先生  
「その道に入らんと思ふ  
心こそ、我身ながらの  
師匠なりけれ」  
言葉の唱和  
黙祷  
青年部綱領  
掛軸 瑞巖老師筆  
9時～開講式  
「関 南北東西活路通」  
御家元御挨拶  
誓いの言葉 秋田青年部  
細部真紀(宗喜さん)  
開講式終了後、12時  
実技講習

講師(二日間共通)  
後藤 宗国先生  
米田 宗宏先生  
町田 宗芳先生  
白波瀬 宗幸先生  
中西 宗修先生  
角 宗広先生  
富士田 宗啓先生  
戸田 宗寛先生  
徳丸 宗敏先生  
泉本 宗玄先生  
庄司 宗健先生  
鈴木 宗慶先生

茶銘 濃茶 嘉心の昔  
薄茶 五雲の白  
共に、上林春松  
主菓子「春の野」  
洛西松屋製  
干菓子「胡蝶」「藤」  
伊織製

12時～13時 昼食  
13時～16時 実技講習  
16時～17時 夕礼  
17時～ ホテル出発

3月20日 晴れ  
茶道会館・裏千家学園

17時半～19時 夕食会「楼蘭」  
来賓 戸田宗寛先生、  
庄司宗健先生、  
鈴木宗慶先生、  
村上様、田淵様  
(今日庵執事)  
長谷川様(組織部)  
進行役 中田様(組織部)

20時～21時 京都シテイホテル  
グループ討議  
「学校茶道との連携を強め  
青年部の魅力を  
PRしよう」

3月21日 晴れ  
茶道会館・裏千家学園

9時～朝礼  
利休道歌  
「稽古とは一より習ひ  
十を知り 十よりかへる  
もとのその一」  
言葉の唱和  
掛軸 宙宝老師筆  
「不老仙」  
朝礼後、12時 実技講習  
茶銘 濃茶 塵外の昔  
薄茶 清閑の白  
共に、中村藤吉  
主菓子「春霞」 駿河屋製  
干菓子「菜花の月」「結び柳」  
伊織製

12時～13時 昼食  
13時～16時 実技講習  
16時～17時 夕礼  
17時～ ホテル出発

2 兜門前で記念撮影  
実技講習前後に、班毎に  
2 班毎に分かれて懇親会

12時～13時 昼食  
千容子御家元夫人より、  
鼓月のぼた餅をご厚意で頂く  
16時 実技講習  
主菓子「都の春」 鼓月製  
干菓子「貝づくし」「蝶」  
伊織製

朝礼後、12時 実技講習  
茶銘 濃茶 長松の昔  
薄茶 江雲の白  
共に、柳桜園

終了後、修了書、祝扇、本を頂く  
祝扇「猿鶴護金輪」  
本茶道具の銘のぼなし」  
フチ自主研修  
「弾丸ツアー」  
お菓子巡りin京都」  
(CUT) Magashi ↓ 鍵善(良房)  
自主研修委員  
竹村さん、吉田さん

御家元御挨拶 寺田さん  
謝辞 小林里美(宗里)さん  
閉会式終了後  
班毎に御家元と記念撮影  
兜門前でL・Tメンバー  
全体写真撮影  
御家元ご厚意で、茶道資料館  
無料拝観有

15時～16時 閉会式  
終了証授与 備北青年部  
小林里美(宗里)さん

12時～13時 昼食  
13時～15時 実技講習

17時半～19時 夕食会「楼蘭」

3月21日 晴れ  
茶道会館・裏千家学園

9時～朝礼  
利休道歌  
「稽古とは一より習ひ  
十を知り 十よりかへる  
もとのその一」  
言葉の唱和  
掛軸 宙宝老師筆  
「不老仙」  
朝礼後、12時 実技講習  
茶銘 濃茶 塵外の昔  
薄茶 清閑の白  
共に、中村藤吉  
主菓子「春霞」 駿河屋製  
干菓子「菜花の月」「結び柳」  
伊織製

12時～13時 昼食  
13時～16時 実技講習  
16時～17時 夕礼  
17時～ ホテル出発

2 兜門前で記念撮影  
実技講習前後に、班毎に  
2 班毎に分かれて懇親会

12時～13時 昼食  
千容子御家元夫人より、  
鼓月のぼた餅をご厚意で頂く  
16時 実技講習  
主菓子「都の春」 鼓月製  
干菓子「貝づくし」「蝶」  
伊織製

朝礼後、12時 実技講習  
茶銘 濃茶 長松の昔  
薄茶 江雲の白  
共に、柳桜園

終了後、修了書、祝扇、本を頂く  
祝扇「猿鶴護金輪」  
本茶道具の銘のぼなし」  
フチ自主研修  
「弾丸ツアー」  
お菓子巡りin京都」  
(CUT) Magashi ↓ 鍵善(良房)  
自主研修委員  
竹村さん、吉田さん

御家元御挨拶 寺田さん  
謝辞 小林里美(宗里)さん  
閉会式終了後  
班毎に御家元と記念撮影  
兜門前でL・Tメンバー  
全体写真撮影  
御家元ご厚意で、茶道資料館  
無料拝観有

15時～16時 閉会式  
終了証授与 備北青年部  
小林里美(宗里)さん

12時～13時 昼食  
13時～15時 実技講習

17時半～19時 夕食会「楼蘭」

抜い落ちが多々ございます  
お詫の申し上げます

# 第2回研修アンケート

研修の感想などを自由記述して頂きました。今回は呈茶委員会の皆様にお願いしております。ご協力ありがとうございました。

## 学んだこと

普段から心を込めてお稽古することの大切さ。亭主は亭主の心で、客は客の心でお稽古することで、状況に合った働きを学ぶことができる。手前・点前における一つの所作の意味合いや歴史的背景を学ぶことの大切さ。濃茶は手早く練ること（一人目も3人目も同じ温度のものを召し上げられるように）、薄茶は客の好みに合わせて点てること。

次のお稽古の方のサポートや、時間がない時の臨機応変な対応。班長として人をまとめる役を学ぶことができた。お呈茶では、色んなアイデアが形になっていく過程を見ることができ勉強になった。研修期間中は道中や待ち時間を含めお稽古の時間であるということ。

## 嬉しかったこと

L.Tの仲間を含め、全国のお仲間と一緒にお稽古に励むことができ、懇親を深められたことは、まさに一期一会の嬉しい出来事でした。お呈茶では、呈茶席会場ができたことと、受付時間を早めてもらえたこと、オリエンテーション前に無事参加者の方へ差し上げることができたのではないかと思います。

お茶が美味しかったと喜んでもらえたこと、お菓子が可愛いと言ってもらえたこと、設えが素敵と感じてくれたこと。草履の履き間違いでは皆様にご心配頂きました。各リーダの速やかな対応ですぐに草履が見つかりました。見つけた後、皆様が見つけなくて良かったねと言ってくださりとても嬉しかったです。L.Tだけで固まることなく、班行動やメンバーの入れ替わりによって、多く

の方と交流できたこと。L.Tメンバーと参加者全員から、この研修を有意義なものにしたい、そして思いやりが先にたつと気持ち、至る所で感じたこと。御宗家、先生方、総本部の皆様、宿泊先のスタッフの皆様のおかげで、受講者全員が無事に研修を終えられた。

## 反省点

初日と二日目の朝礼前の待ち時間では、研修生として相応しくない受講態度であったこと。先生方からご指摘やご指導をいただいてから対応する場面が度々ありました。自分たちでも気が付いていながら、なかなか積極的に行動できなかった。

開講式やお茶室では緊張感があったが、茶道会館への道中等は配慮が足りなかったこと。総本部主催の懇親会でお料理を残してしまつた。主催者の思いを考えれば残してはいけなかった。遅れてきた人は前に座るのではなく後ろに座るようにと業隼先生よりご指導いただきました。お道具について（作者、銘、窯元、取り合わせや歴史的背景など）学ぶことが重要さを痛感しました。お呈茶に関して、水屋の配置をもう少しシミュレーションすればよりスムーズに水屋の設置ができたのではないかと思います。

## 次回の議題

その場に適した態度を常に考えておく。L.Tが自ら気づき、今自分が何をすべきか考えて、すぐに行動に移す。研修に参加させていただいていることへの感謝の気持ちを忘れずにいたい。

利休七則の意図を心に刻み、次回以降の研修会に臨みたいと思います。次回のナンジョンでは、参加させていたたくとも、全国から集まる皆様のサポートができるように気を引き締めたいと思います。第一回研修の講演で、借りた物を使った物は初めにあった状態以上に綺麗にして返すという話にもあったように、移動中も研修中である事、茶道会館に入ったところから稽古という気持ちで、後から客観的に見た時に恥ずかしい思いをしないような心構えで、研修に臨んでみよようと思いをしました。御家元からいただいたこの研修がスタートラインという言葉を胸に、L.Tとして、貴重な経験をさせていただいたことを、貴方も未来に恩返しできるように、各回の研修に取り組むこと。

## その他

先生方からのご指摘をいただいてからの行動にはなつてしまいましたが、最終日の朝礼前は、皆が静寂を守り心をひとつにしているようで、とても清々しい気持ちになりました。L.Tのメンバーがリーダシップを発揮して79名という集団が一つにまとまったことを実感しました。L.Tのメンバーにとつて、ひとつの大きな成功体験であったと思います。今後はあのような空気をもち、早く作れるように精進して参りたいと思えます。第一回目の反省を踏まえ、時間厳守で団体行動できたことは良かった。常識として分っているはずのことが実際にできていないこと、L.T研修に来るたびに実感します。これが自分の実力と捉え、一つ一つ直していけたらと思います。最終日に茶道会館での私語について厳しい態度をとってしまったが、一般参加者の気分を害してはいけないが不安。

自分一人が疎まれるのはいいが、L.T全員の印象を悪くしていないか心配。お呈茶では、それぞれが考えて動き、全国代表者会議でのお呈茶へ向けて良い機会だった。来年もL.Tで呈茶をすることができたら、研修を受ける方に呈茶があることを伝えられたらいいなと感じました。（自主的にするものなので、行事として伝えるのは難しいですが）呈茶メンバーもL.Tメンバーも素晴らしい方ばかりで、皆さんにお会いできたことに本当に感謝しております。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。今回の呈茶のテーマ「心」"Mind"にも表現されているように、青年研修会の受講者全員が大切な仲間であるという意識を皆で共有し行動できたことは良かった。今回勉強させていただいたことを普段のお稽古や生活の中で活かしていけるよう常に心がけたい。

## 呈茶委員長 ご挨拶

皆様、お世話になっております。広島第二青年部内藤敬典でございます。第49回裏千家青年研修会ではお疲れさまでございました。まだまだ勉強をするところの多い自分ではあります。29期L.Tでは呈茶委員会の委員長を務めさせていただきます。研修会では、この度の青年研修会でのオリエンテーション前のウェルカム呈茶でも皆様には大変お世話になりました。初顔合わせとなった二回目の研修終了後一ヶ月程度の準備時間で、集まつの打ち合わせ等もできない中、メンバー間で連絡を取り合ひながらの準備ではありましたが、当日呈茶を無事する事ができました。

とはひとえに皆様のおかげによることとさせていただきます。研修会受付時には参加した方ばかりは不安も大きく緊張をされている方も多いため、その不安をすこしでも取り除いて差し上げたいというL.Tメンバーの想い、「ようこそ」という気持ちの「welcome」とまたメンバーの心を一つにしてこれからの行事に取り組んでいこうという気持ちをこめて「心」をテーマに、一回目の研修後からウェルカム呈茶の準備をしてまいりました。受付の時に配布をしていただいた配布物にも記載いただいた内容ではありますが、楯は造るといふ象徴でもあるので、これからは皆様の想い一つに新しいものを造っていこうという想いと、打出の小槌にも見立て、研修会での多くの出会いと勉強で、これより先の宝物となるような経験や思い出が沢山出てくるようにという想いもこめて使わせていただいた香合ですが、その想いのとおりこれから的人生において宝物となる多くの出会い、また経験をさせていただける事ができました。また色紙のことにもあります。花は、様々の春を知るのよう、今回の経験もふまえてこれから無心に稽古に努め、いつか自然と花の咲いた日を想いながら、残りの研修にも努めてまいりたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

呈茶委員会委員長  
広島第二青年部内藤敬典

## 編集後記

今号の発行は大変遅くなり誠に申し訳ございません。認識、確認不足を痛感しております。自主研修の内容は、今後いすれかの号でご紹介したく思います。次回はいよいよナシヨコン、よりよい「青雲」を目指します。広報誌作成担当  
山梨青年部 古屋珠美